

2017年11月8日

IP リモートカメラソリューションや 4K カメラソリューションなど多彩な映像制作ソリューションを提案

## 「2017年国際放送機器展 (Inter BEE 2017)」

## JVCケンウッドブースのご案内

株式会社 JVC ケンウッドは、11月15日（水）から17日（金）まで幕張メッセで開催される「2017年国際放送機器展(Inter BEE 2017)」に出展します。

当社ブースでは、スポーツや音楽などの各種イベント中継を、ローコストかつシンプルに可能にする IP リモートカメラソリューションをメインで紹介。また、4K カメラソリューションとして、4K DCI シネマ映像制作の提案を行うほか、米 RTI 社との協業による 360 度 4K60p VR 制作ソリューションを参考出品します。

当社は今回の出展を通じて、当社独自のカメラ映像技術を核に、パートナー企業とのコラボレーションなどによって生まれた、新たな映像制作ソリューションを提案します。



<JVC ケンウッドブースの主な展示内容> (映像制作関連機材部門/ホール6/ブース番号: 6110)

## 1. IP リモートカメラソリューション

## 1) IP リモートプロダクションシステム (参考出品)

スタジオや調整室などから遠隔地にある当社製各種ネットワーク対応カメラをネットワーク経由でリモート操作し、ローコストかつシンプルなシステムで映像制作から配信までを行えるトータルソリューションを紹介します。IP 制御でマルチカメラ撮影に対応可能な Streamstar 社製ライブプロダクションシステムを使用し、「コンテンツ撮影」「ネットワーク伝送」「グラフィックオーバーレイ」「配信」という一連のワークフローを提案します。



<IP ライブプロダクションシステムイメージ >

## 2) 定点リモートカメラシステム(参考出品)

プリセット位置に合わせて、自動で画像やテキストの重畳が可能なプリセット・オーバーレイ機能を搭載した PTZ カメラを参考出品。パケットロスやジッターを大幅低減し、高品質な映像・音声の配信を実現するクラウドサービス「Zixi」と Zixi プロトコルを搭載した VITEC 社製「MGW ACE Decoder」との組み合わせにより、定点カメラとしてネットワーク経由で遠隔地から操作、観測するシステムを展示します。



<「PTZ カメラ」>

## 3) ローコストスタジオシステム

リモートカメラコントローラー「RM-LP100」の最新ファームウェア Version2.0 を公開。「RM-LP100」1 台で、複数の当社製ネットワーク対応カメラ※<sup>1</sup>のリモート操作とタリー表示を可能とし、簡易マルチカメラ運用をローコストで実現します。また、個人や競技団体などでも独自に、スポーツイベントの生中継を収録、配信できるスコア重畳機能を搭載した業務用カメラレコーダー「GY-HM200BB」を展示し、ワンマンオペレートのデモンストレーションを行います。

※1：対応機種「KY-PZ100」「GY-HM200」「GY-HM660」「GY-HM850」。

## 2. 4K カメラソリューション

### 1) 4K HDR 映像制作

BT2020 色域のカバー率を 80.3% 実現し、ハイブリッド・ログ・ガンマの特性に近く LUT による変換ロスの少ない J-Log1 モードから、BT2100 の HDR ハイブリッド・ログ・ガンマに変換する LUT ファイルを用いてグレーディングしたデモンストレーション映像を展示します。J-Log1 に対応した ATOMOS 社レコーダーにより、HDR としてビューイングおよびモニター表示／記録が可能です。

### 2) 4K DCI シネマ映像制作 (技術展示)

DCI-P3 の色域カバー率 93.8%、面積比 111.9% の J-Log1 映像をデジタルシネマ規格の DCI カラー空間 DCI- X'Y'Z'、および DCI-P3(RGB) に変換する DCI 対応 LUT ファイルを技術展示するとともに、この LUT ファイルでグレーディングしたデモンストレーション映像を展示します。ダイナミックレンジ 800% を実現する JVC Log1 モードを搭載した 4K カメラレコーダー「GY-LS300CH」で撮影した映像を DCI- X'Y'Z' LUT ファイルを用いることで、映画館で上映されるデジタルシネマパッケージと同じカラー空間でグレーディングが可能となります。



<「GY-LS300CH」と ATOMOS 社製レコーダー>

### 3) 小型 4K60p カメラシステム

#### ・分離型 4K カメラシステム「GW-SP100」

4K 対応 Super 35mm イメージセンサーを搭載し、マイクロフォーサーズシステムレンズマウントを採用した小型 4K カメラユニットと、脱着・折り畳み可能な 7 インチフル HD 液晶モニターを装備したビデオユニット、コントロールユニットからなる分離型 4K カメラシステム「GW-SP100」を展示。4K (3,840×2,160) /60p 撮影に対応し、別売のケーブルや関連周辺機器との組み合わせにより、自由度の高い設置と遠隔操作撮影を可能にします。



<「GW-SP100」>

#### ・4K モジュールカメラ「GW-MD100」

VIVID 社製コントロールソフトウェア (技術展示) と連携し、汎用パソコンや Windows<sup>®</sup> タブレットでカメラ機能を遠隔操作する、4K 対応 Super35mm イメージセンサー搭載の小型 4K カメラモジュール「GW-MD100」を展示します。レンズはマイクロフォーサーズ規格に準拠し、本体は小型・軽量のため、制作・イベント用途やファクトリーオートメーション、移動体カメラ、定点カメラなどのさまざまなシーンで活用できます。



<「GW-MD100」接続イメージ>

#### 4) 米 RTi 社との協業による 360 度 4K60p VR 制作ソリューション (参考出品)

米国 Realtime Immersion 社 (RTi) とのコラボレーションにより、Super35mm イメージセンサーを搭載した 360 度撮影カメラ、VR ヘッドマウントディスプレイ、および専用 VR アプリケーションを参考展示。業務用放送向けに、360 度映像撮影・ライブ配信ソリューションとして提案します。カメラ部分は、スポーツ、エンターテインメント、ニュースなどの VR ライブ映像を 360 度撮影する際に最適な 3Kx3K 読み出しに対応。RTi 社の独自開発による一眼カメラデザインの光学システムと組み合わせることで、高画質でつなぎ目のないスムーズな映像を送出できます。また、複眼カメラでは必要なステッチングソフトが不要なため、映像の遅延を最小に抑えることが可能です。あわせて、携帯端末への 360 度ライブ映像配信が可能なアプリケーションや 360 度コンテンツの表示に対応した VR ヘッドマウントディスプレイも展示します。



<360 度撮影カメラ車載使用イメージ>

#### ■ 「2017 年国際放送機器展 (Inter BEE 2017)」の概要

1. 会期 : 2017 年 11 月 15 日 (水) ~ 17 日 (金)  
10:00 ~ 17:30 (最終日のみ 17:00 終了)
2. 会場 : 幕張メッセ
3. 主催 : 一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)
4. 公式 URL : <http://www.inter-bee.com/ja/>

<商標について>

- ・Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】 株式会社 JVC ケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ

TEL: 045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3 丁目 12 番地

本資料の内容は報道発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

[www.jvckenwood.com](http://www.jvckenwood.com)